

R5年度「課題研究」シラバス	単位数 学科・学年・学級	1単位 生活科学科 第2学年4組
----------------	-----------------	---------------------

1.学習の到達目標等

<p>農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、社会を支え産業の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、交互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。</p> <p>(3) 課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。</p>

2.学習計画及び評価方法等

評価の観点	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	農業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、交互に関連付けられた技術を身に付けるようにする。	農業に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として解決策を探究し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

月	指導項目	指導内容	評価方法
4 5 6 7	1「課題研究」を学ぶにあたって (1) オリエンテーション (2) テーマ設定 (3) 実施計画 2. 調査、研究、実験(1) 3. 作品製作等(2) 4. 学校農業クラブ 5. 産業現場等における実習 (1)対人サービスのマナー	・課題研究を学ぶ目的と意義について指導する。 ・図書資料やインターネット等を使用し各自の課題について主体的かつ行動的に取り組む学習活動になるよう指導する。 ・校内代表・県代表の発表を聞くことで、農業及び生活関連産業や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組むよう指導する。 ・高校生、職業人としての基本的なマナーが身につくよう指導する。	・ワークシート型ポートフォリオ ・記録簿
9 10 11 12	(2)職場体験 (3)手紙マナー 6.調査、研究、実験(2) 7.作品製作等(3)	・生活及び農業関連分野に関する職業について理解できるよう指導する。 ・職場体験において自己課題について考え明確にさせ、各自の進路希望に対し今後の高校生活の目標を立てることができるよう指導する。 ・図書資料やインターネット等を利用し各自の課題について主体的かつ行動的に取り組む学習活動になるよう指導する。	・ワークシート型ポートフォリオ ・記録簿
1 2 3	8.研究のまとめ	・これまでの取り組みをまとめ、聞き手に伝わりやすように、プレゼンテーション発表を行うよう指導する。	発表用原稿 発表用掲示物 記録簿

R5年度 「 課題研究 」 シラバス	単位数 学科・学年・学級	3単位 生活科学科 第3学年 4組
--------------------	-----------------	----------------------

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	家庭・農業に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。
---------	--

2 学習計画及び評価方法等

月	学習内容	学習のねらい・目標	資料・方法 題材・その他
4 5 6	1. 課題研究オリエンテーション テーマ設定 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 課題研究の目的を理解し、自分でテーマを決め、自主的、継続的に学習することができる。 自分のテーマに沿って、研究計画を立てることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション資料 テーマ確認
7 9	2. 調査・研究 資料収集 実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料やインターネットなどを利用して課題について調べ、レポートにまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書資料 インターネット アンケートなど
10	3. 外部講師による指導	<ul style="list-style-type: none"> 専門分野の学習を通し、将来の職業に対する意欲を高めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門職の方
11	4. 実験・実習 (作品製作、施設実習など)	<ul style="list-style-type: none"> 地域の素材を教材化し、地域開発の能力と実践的態度を身につけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 実習材料 実習施設
12 1	5. 研究のまとめ プレゼンテーション発表	<ul style="list-style-type: none"> これまでの取り組みをまとめ、パワーポイントを用いて、プレゼンテーション発表を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 発表原稿 発表用掲示物 パソコン
2 .	6. 反省・評価	<ul style="list-style-type: none"> 農業及び生活関連産業や社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む意義を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 反省・評価用紙

※ 評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4つの観点で行います

※ 評価の方法は、学習状況、提出物（プリント、ファイルなど）、実習における積極性、実習態度を総合的に評価します。